

# 自治体職員等を対象とした橋梁点検講習会

本講習会は、自治体における直営点検の一助となるよう、損傷の発見、原因の推定、健全性の評価及び補修工法の選定など、メンテナンスの一連の流れに必要な基礎知識の習得を目的として、橋梁の構造とメンテナンスの取組みに関する講習会を開催しました。

座学講習では、点検が必要となった時代背景及び橋梁の基本的な知識から、点検の着眼点、劣化機構、補修設計の流れといった予防保全型管理を行うための知識を学び、また今後の維持管理費の縮減等に向けた新技術に関する情報を共有しました。

現場講習では、自治体の多くが管理している橋長 15m 未満の溝橋(ボックスカルバート)を対象に、打音検査や損傷図の作成などを体験した後、ひびわれ画像診断等の新技術の紹介を通じて橋梁点検に関する理解を深めました。

## <開催概要>

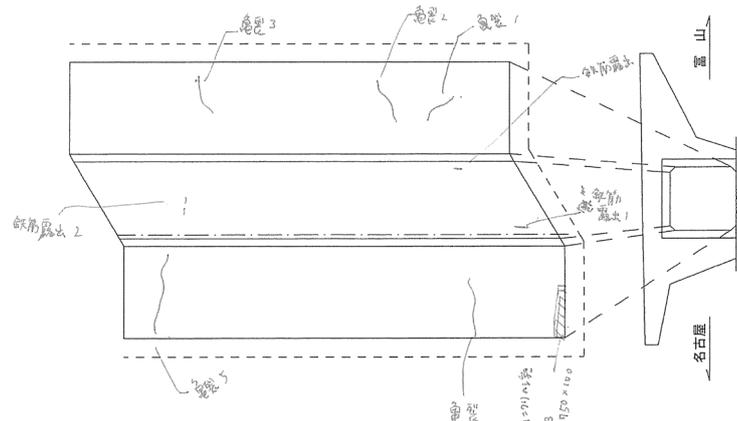
日時 : 令和3年11月24日(水) 13:00~

対象者 : 岐阜県内自治体職員 22名

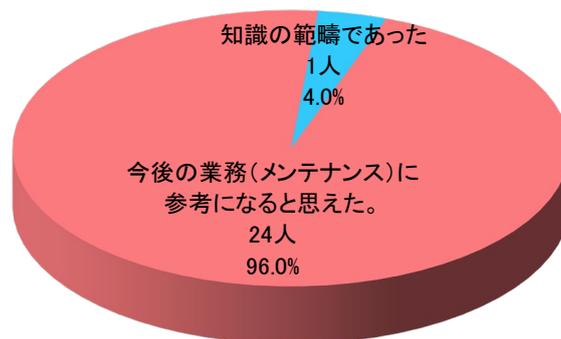
座学講習 : 岐阜国道事務所会議室 (45分)

現場講習 : 美濃加茂41号土田3号函渠 (50分)

## <実施状況など>



損傷図の作成



講習会後のアンケート結果